

内容市長の

ゆるやか「コラム」

「国際交流を縁とした 新たな取り組みと出会い」



6月中旬から下旬にかけて、タンザニアから職業訓練校の学生と教員、8名が長井市を訪れ、長井工業高校で授業体験などを行いました。今回の訪問は、タンザニアの人たちが日本の製造業や人材育成の現場を学ぶため、国際協力機構（JICA）から依頼があったもので、県教育委員会と長井工業高校の協力により実現しました。滞在中は市内企業訪問などもあり、お互いに有意義な機会になったと感じています。7月には、長井商工会議所、市内企業経営者の皆さんと一緒にタンザニアを訪問してまいります。訪問の目的は、主に製造業における将来的な人手不足への対応として、タンザニアの人たちの研修、雇用を検討することです。

タンザニアとはホストタウンを契機に交流を続けており、昨年は、同国の首都ドドマ市と姉妹都市の盟約を締結しました。タンザニアは穏やかで勤勉な国民性の特徴で、アフリカ諸国の中でも治安が良く経済成長を続けている国です。全国的に外国人労働者の受け入れが進められている中、これまでの縁を生かし、産業の面でも同国との連携を

深めていきたいと考えています。

長年交流を続けている海外の姉妹都市、ドイツバート・ゼッキンゲン市において、2年前、青少年の自然体験事業である国際ユースキャンプが行われました。長井市からは8人の中高生が参加し、海外の青少年と交流を深めてきました。今年は同市とイタリアルイカ市の2都市を会場に行われます。参加者を募集した結果、今回は10人の中高生が参加することとなりました。新しい出会いと体験を通して多くのことを学ぶ機会になることを期待しています。

市では今後も、姉妹都市を中心に交流のある国々と連携し、協力関係を築いていきたいと思っています。

7月6日まであやめまつりが開催されています。会場となるあやめ公園は明治43年に開園し115年目を迎えます。まつりのフィナーレを飾る長井おどり大パレードは昭和38年に始まり、一時休止を経て平成22年に復活、今年で15回目となります。歴史あるパレードを多くの皆様と楽しみたいと思いますので、ぜひご参加、ご観覧くださいませ。すようお願いします。